

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤		正		備考
[別表-1]				
土工	掘削工	掘削	土質 施工方法 押土の有無 障害の有無 施工数量	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満及び岩の場合は10m ³
土工		掘削(砂防)	土質 押土の有無 障害の有無 火薬使用	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満及び岩の場合は10m ³
土工		河床等掘削		m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		掘削(光ケーブル配管)	土質 施工方法 押土の有無 障害の有無 施工数量	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		整地	作業区分	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		掘削(ルーズ)	土質	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		押土(ルーズ)砂防	土質	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		横込(ルーズ)	作業内容	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		横込(ルーズ)砂防	土質 作業内容	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		土砂等運搬	土質	m ³ 10
土工		土砂等運搬(砂防)	土質	m ³ 10
土工	掘削工(ICT)	掘削(ICT)	土質 施工方法 障害の有無 施工数量	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満及び岩の場合は10m ³
土工	(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	施工幅員	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		路床盛土	施工幅員	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		整地	作業区分	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		掘削(ルーズ)	土質	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		押土(ルーズ)砂防	土質	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		横込(ルーズ)	土質 作業内容	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		横込(ルーズ)砂防	土質 作業内容	m ³ 100 ただし1,000m ³ 未満の場合は10m ³
土工		土砂等運搬	土質	m ³ 10
土工		土砂等運搬(砂防)	土質	m ³ 10
				積算基準改定に伴う削除
1-1-6				(控え頁)
				1/3

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤							正							備考
コンクリート構造物	暗渠工	プレキャストボックス	内幅 内高	m	1		<p>現行どおり</p>							<p>新規追加</p>
構造物	帯状構造物(小規模)工		幅 高さ コンクリート規格	m	1	各種ブロック(既製品共)H=2.0m未満の擁壁類								
構造物	帯状構造物(大規模)工		コンクリート規格 幅 高さ	m	0.1	H=2.0m以上の擁壁類								
構造物	排水構造物工		管規格	m	1	ただし径1m以上の管渠類の場合は0.1m								
構造物	排水構造物工	現場排水路	内幅(復旧不使用の場合) 内高(復旧不使用の場合) コンクリート規格	m	1									
構造物	排水構造物工	縦排水・小段排水	U型側溝の種類 U型側溝の規格 内幅(各種の場合) 内高(各種の場合) 作業区分 コンクリート打設の有無 コンクリート規格 目地板の有無 目地板の種類 目地板の種類(各種の場合)	m	1									
構造物	場所打面渠工(構造物単位)	面渠	内幅 内高 コンクリート規格	m ²	1									
構造物	排水性舗装用路肩排水工	透水性側溝コンクリート		m ²	1									
構造物	橋脚架設工	橋脚架設		t	0.1									
工場製作工	製作工	製作加工	鋼材規格	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t								
工場製作工		ボルト・ナット	ボルト・ナット種類	組	1									
工場製作工		スタッドシベル	径・長さ	本	1									
工場製作工		バックアップ	材質	m ²	0.1									
工場製作工		充填シール	材質	m ²	0.1									
工場製作工		アンカーボルト	材質・径・長さ アンカー材規格	組	1									
工場製作工	鋳造費	金属支承	支承規格	個	1									
工場製作工		大型ゴム支承	支承規格	個	1									
工場製作工		排水機	排水機	個	1									
工場製作工		橋名板	材質	枚	1									
工場製作工		橋脚板	材質	枚	1									
工場製作工	工場塗装工	前処理	材料種類	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²								
							<p>現行どおり</p>							

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤							正							備考		
河川構造物	羽目工	透管ブロック水中吊渡し		m ²	1											
河川構造物	養生工	遮断シート張	シート規格	m ²	1											
砂防	鋼製堰堤本体工	鋼製枠(格子・スリット)	鋼製砂防形式 塗装種別(中塗) 塗装種別(上塗)	t	1		砂防	鋼製堰堤本体工	鋼製枠(格子・スリット)	鋼製砂防形式 塗装種別(中塗) 塗装種別(上塗)	t	0.1			記載の修正	
砂防	コンクリート・鋼製堰堤本体・副堤工	堤冠コンクリート	セメント種類 コンクリート規格	m ³	1											
砂防		木技暗渠	管径 管種類 管長さ	m	0.1											
砂防		鋼製枠	型式	t	0.1											
砂防		地内中詰	土質	m ²	1											
砂防		足場	安全ネットの有無	m	1											
砂防		隔壁コンクリート基礎	コンクリート規格 幅 高さ	m ³	1											
砂防		均しコンクリート	コンクリート規格 敷厚	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²										
砂防		残存型枠	型枠の種類	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²										
砂防	鋼製砂防工	本締め		本	1											
砂防		アンカー	アンカーボルト規格	本	1											
砂防		現場塗装	塗装種別	m ²	1											
砂防	コンクリート側壁工	均しコンクリート	コンクリート規格 敷厚	m ²	10	ただし100m ² 未満の場合は1m ²										
砂防		木技暗渠	管径 管種類 管長さ	m	0.1											
砂防	集排水ボーリング工	ボーリング	施工場所 土質区分 呼び径	m	0.1											
砂防		ボーリング洗浄		m	0.1											
砂防		保孔管	保孔管材質・種類 施工場所 ストレート加工の有無	m	1											
砂防		ボーリング仮設機材		回	1											
砂防	集水井工	集水井集積	口径	m	1											
砂防		井戸中詰	土留材料	m ²	1											
砂防		プレキャスト井筒	土質	m ²	1											
砂防		ブロック規格	ブロック規格	m	1											
砂防		固定基礎コンクリート	タイプ コンクリート規格	m	1											

現行どおり

1-1-27

1-1-27

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤	正	備考																																																																																								
<p>1.2 路盤工</p> <p>1. 適用 アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を含む）に適用する。</p> <p>2. 数量算出項目 下層路盤、上層路盤の面積を区分ごとに算出する。</p> <p>3. 区分 区分は、平均厚さ、規格、平均幅員、瀝青材料種類・締固め後密度とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" data-bbox="457 976 1175 1381"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th rowspan="3">区分</th> <th rowspan="3">3次元モデル</th> <th colspan="8">属性情報</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">規格 (材料)</th> <th colspan="2">仕上り厚</th> <th rowspan="2">施工区分</th> <th rowspan="2">平均幅員</th> <th rowspan="2">瀝青材料種類・締固め後密度</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一層当り平均仕上り厚 (mm)</th> <th>全仕上り厚 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下層路盤 (車道・路肩部)</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下層路盤 (歩道部)</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上層路盤 (車道・路肩部)</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上層路盤 (歩道部)</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする 注) 上層路盤 (車道・路肩部) における仕上り厚区分について、規格 (材料) が瀝青安定処理材の場合は「一層当り平均仕上り厚」、粒度調整砕石の場合は「全仕上り厚」を適用する。</p> <p>(2) 仕上り厚区分及び規格区分 路盤の仕上り厚さ及び材料の規格 (粒調砕石40~0、クラッシュラン40~0等) ごとに区分して算出する。</p> <p>3-1-3</p>	項目	区分	3次元モデル	属性情報								規格 (材料)	仕上り厚		施工区分	平均幅員	瀝青材料種類・締固め後密度	単位	数量	備考	一層当り平均仕上り厚 (mm)	全仕上り厚 (mm)	下層路盤 (車道・路肩部)	B	○	—	○	○	—	—	m ²			下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)	B	○	—	○	○	—	—	m ²			下層路盤 (歩道部)	B	○	—	○	○	—	—	m ²			上層路盤 (車道・路肩部)	B	○	○	○	○	○	○	m ²			上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)	B	○	—	○	○	○	—	m ²			上層路盤 (歩道部)	B	○	—	○	○	—	—	m ²			<p>現行どおり</p> <p>3. 区分 区分は、<u>平均仕上り</u>厚さ、規格、平均幅員、瀝青材料種類・締固め後密度とする。</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の修正</p>
項目				区分	3次元モデル	属性情報																																																																																				
						規格 (材料)	仕上り厚		施工区分	平均幅員	瀝青材料種類・締固め後密度	単位	数量	備考																																																																												
	一層当り平均仕上り厚 (mm)	全仕上り厚 (mm)																																																																																								
下層路盤 (車道・路肩部)	B	○	—	○	○	—	—	m ²																																																																																		
下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)	B	○	—	○	○	—	—	m ²																																																																																		
下層路盤 (歩道部)	B	○	—	○	○	—	—	m ²																																																																																		
上層路盤 (車道・路肩部)	B	○	○	○	○	○	○	m ²																																																																																		
上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)	B	○	—	○	○	○	—	m ²																																																																																		
上層路盤 (歩道部)	B	○	—	○	○	—	—	m ²																																																																																		
		<p>(控え頁)</p> <p>1/1</p>																																																																																								

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤	正	備考																																																																																																																																																																																																																																						
<p>2. 数量算出項目</p> <p>鋼板(材料費)、スタッドジベル(材料費)、鋼板巻立て、シール材(材料費)、注入材(材料費)、現場溶接、フーチングアンカー削孔・定着、アンカー材(材料費)、アンカー注入材(材料費)の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3. 区分</p> <p>区分は、規格、支柱区分、注入材材質、溶接種別、板厚区分、削孔深とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>(2) 鋼板巻立ての支柱区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">3次元モデル</th> <th colspan="5">属性情報</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>規格</th> <th>支柱区分</th> <th>注入材材質</th> <th>溶接種別</th> <th>板厚区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>鋼板(材料費)</td><td>I</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>t</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>スタッドジベル(材料費)</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>本</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鋼板巻立て</td><td>B</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m²</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>シール材(材料費)</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m²</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>注入材(材料費)</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m²</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現場溶接</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>m</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>フーチングアンカー削孔・定着</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>箇所</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>アンカー材(材料費)</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>本</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>アンカー注入材(材料費)</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>本</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする 鋼板(材料費)の3次元モデルの基本的な表現方法は、鋼構造を参考とする</p> <p>(3) 鋼板巻立ての注入材材質による区分は、以下のとおりとする。</p> <p>注入材材質</p> <ul style="list-style-type: none"> 無収縮モルタル エポキシ樹脂 <p>(4) 現場溶接の溶接種別による区分は、以下のとおりとする。</p> <p>溶接種別</p> <ul style="list-style-type: none"> すみ肉脚長 6mm 補強鋼板部(V型・L型) <p>3-3-43</p>	項目	区分	3次元モデル	属性情報					単位	数量	備考	規格	支柱区分	注入材材質	溶接種別	板厚区分	鋼板(材料費)	I	○	×	×	×	×	×	t			スタッドジベル(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本			鋼板巻立て	B	○	○	○	×	×	×	m ²			シール材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	m ²			注入材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	m ²			現場溶接	B	○	×	×	○	○	×	m			フーチングアンカー削孔・定着	B	○	×	×	×	×	○	箇所			アンカー材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本			アンカー注入材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本			<p>現行どおり</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">3次元モデル</th> <th colspan="5">属性情報</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>規格</th> <th>支柱区分</th> <th>注入材材質</th> <th>溶接種別</th> <th>板厚区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>鋼板(材料費)</td><td>I</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>t</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>スタッドジベル(材料費)</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>本</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鋼板巻立て</td><td>B</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m²</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>シール材(材料費)</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m²</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>注入材(材料費)</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m²</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現場溶接</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>m</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>フーチングアンカー削孔・定着</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>箇所</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>アンカー材(材料費)</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>本</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>アンカー注入材(材料費)</td><td>B</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>本</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする 鋼板(材料費)の3次元モデルの基本的な表現方法は、鋼構造を参考とする</p> <p>(2) 鋼板巻立ての支柱区分は、以下のとおりとする。</p> <p>支柱区分</p> <ul style="list-style-type: none"> A支柱 B支柱 C支柱 D支柱 E支柱 F支柱 G支柱 H支柱 <p>次頁へ移動</p>	項目	区分	3次元モデル	属性情報					単位	数量	備考	規格	支柱区分	注入材材質	溶接種別	板厚区分	鋼板(材料費)	I	○	×	×	×	×	×	t			スタッドジベル(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本			鋼板巻立て	B	○	○	○	×	×	×	m ²			シール材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	m ²			注入材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	m ²			現場溶接	B	○	×	×	○	○	×	m			フーチングアンカー削孔・定着	B	○	×	×	×	×	○	箇所			アンカー材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本			アンカー注入材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本			<p>記載の追加</p>
項目				区分	3次元モデル	属性情報						単位	数量	備考																																																																																																																																																																																																																										
	規格	支柱区分	注入材材質			溶接種別	板厚区分																																																																																																																																																																																																																																	
鋼板(材料費)	I	○	×	×	×	×	×	t																																																																																																																																																																																																																																
スタッドジベル(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本																																																																																																																																																																																																																																
鋼板巻立て	B	○	○	○	×	×	×	m ²																																																																																																																																																																																																																																
シール材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																																																																																																																																																
注入材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																																																																																																																																																
現場溶接	B	○	×	×	○	○	×	m																																																																																																																																																																																																																																
フーチングアンカー削孔・定着	B	○	×	×	×	×	○	箇所																																																																																																																																																																																																																																
アンカー材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本																																																																																																																																																																																																																																
アンカー注入材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本																																																																																																																																																																																																																																
項目	区分	3次元モデル	属性情報					単位	数量	備考																																																																																																																																																																																																																														
			規格	支柱区分	注入材材質	溶接種別	板厚区分																																																																																																																																																																																																																																	
鋼板(材料費)	I	○	×	×	×	×	×	t																																																																																																																																																																																																																																
スタッドジベル(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本																																																																																																																																																																																																																																
鋼板巻立て	B	○	○	○	×	×	×	m ²																																																																																																																																																																																																																																
シール材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																																																																																																																																																
注入材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																																																																																																																																																
現場溶接	B	○	×	×	○	○	×	m																																																																																																																																																																																																																																
フーチングアンカー削孔・定着	B	○	×	×	×	×	○	箇所																																																																																																																																																																																																																																
アンカー材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本																																																																																																																																																																																																																																
アンカー注入材(材料費)	B	○	×	×	×	×	×	本																																																																																																																																																																																																																																
		<p>(控え頁)</p> <p>1/5</p>																																																																																																																																																																																																																																						

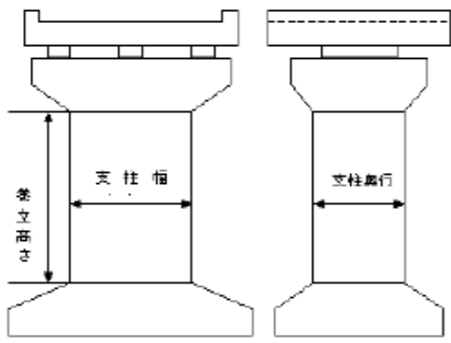
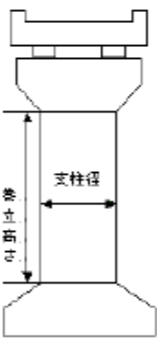
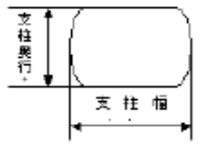

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤	正	備考																																												
<p style="text-align: center;">前頁より移動</p> <p>(5) 現場溶接の板厚区分は、以下のとおりとする。 (溶接種別が補強鋼板部(V型・L型)の場合のみ)</p> <p>板厚区分</p> <ul style="list-style-type: none"> — 6mm, 9mm, 10mm — 12mm, 13mm — 14mm, 15mm — 16mm, 19mm — 21mm, 22mm <p>(6) フーチングアンカー削孔・定着の削孔深による区分は、以下のとおりとする。</p> <p>削孔深</p> <ul style="list-style-type: none"> — 0.8m以上1.0m未満 — 1.0m以上1.2m未満 — 1.2m以上1.4m未満 — 1.4m以上1.6m未満 <p>関連数量算出項目</p> <table border="1" data-bbox="454 1079 1190 1320"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">3次元モデル</th> <th colspan="3">属性情報</th> </tr> <tr> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場塗装工</td> <td>B</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td>B</td> <td>t</td> <td></td> <td>「第1編(共通編)4.3.1鉄筋工」参照</td> </tr> <tr> <td>型枠</td> <td>B</td> <td>m²</td> <td></td> <td>「第1編(共通編)4.2型枠工」参照</td> </tr> <tr> <td>コンクリート (根巻きコンクリート工)</td> <td>B</td> <td>m³</td> <td></td> <td>「第1編(共通編)4.1コンクリート工」参照</td> </tr> </tbody> </table> <p>3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>4. 数量算出方法 数量算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか、下記の方法によるものとする。</p> <p>(1) 鋼板(材料費)は、規格ごとの質量(t)を算出する。なお、規格は以下を標準とするが、該当しない場合は、形状、ブラケットの有無、塗装の仕様等を明記する。</p> <table border="1" data-bbox="528 1503 908 1696"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>鋼板規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>円形補強鋼板(ブラケット有)</td></tr> <tr><td>②</td><td>円形補強鋼板(ブラケット無)</td></tr> <tr><td>③</td><td>矩形補強鋼板(ブラケット有)</td></tr> <tr><td>④</td><td>矩形補強鋼板(ブラケット無)</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>下端拘束用円形鋼板</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>下端拘束用形鋼</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>各種</td></tr> </tbody> </table> <p>注) 鋼板の塗装系はC-5系(上塗りまで含む)を標準とする。</p> </div> <p style="text-align: center;">3-3-44</p>	項目	3次元モデル	属性情報			単位	数量	備考	現場塗装工	B	m ²			鉄筋工	B	t		「第1編(共通編)4.3.1鉄筋工」参照	型枠	B	m ²		「第1編(共通編)4.2型枠工」参照	コンクリート (根巻きコンクリート工)	B	m ³		「第1編(共通編)4.1コンクリート工」参照	番号	鋼板規格	①	円形補強鋼板(ブラケット有)	②	円形補強鋼板(ブラケット無)	③	矩形補強鋼板(ブラケット有)	④	矩形補強鋼板(ブラケット無)	⑤	下端拘束用円形鋼板	⑥	下端拘束用形鋼	⑦	各種	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(3) 鋼板巻立ての注入材材質による区分は、以下のとおりとする。</p> <p>注入材材質</p> <ul style="list-style-type: none"> — 無収縮モルタル — エポキシ樹脂 <p>(4) 現場溶接の溶接種別による区分は、以下のとおりとする。</p> <p>溶接種別</p> <ul style="list-style-type: none"> — すみ肉脚長6mm — 補強鋼板部(V型・L型) </div> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>	
項目			3次元モデル	属性情報																																										
	単位	数量		備考																																										
現場塗装工	B	m ²																																												
鉄筋工	B	t		「第1編(共通編)4.3.1鉄筋工」参照																																										
型枠	B	m ²		「第1編(共通編)4.2型枠工」参照																																										
コンクリート (根巻きコンクリート工)	B	m ³		「第1編(共通編)4.1コンクリート工」参照																																										
番号	鋼板規格																																													
①	円形補強鋼板(ブラケット有)																																													
②	円形補強鋼板(ブラケット無)																																													
③	矩形補強鋼板(ブラケット有)																																													
④	矩形補強鋼板(ブラケット無)																																													
⑤	下端拘束用円形鋼板																																													
⑥	下端拘束用形鋼																																													
⑦	各種																																													
		(控え頁) 2/5																																												

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤	正	備考																																																																																									
<p style="text-align: center;">前頁より移動</p> <p>(2) スタッドジベル(材料費)は、規格ごとの本数を算出する。なお、規格は以下を標準とするが、該当しない場合は、径、長さ等を明記する。</p> <table border="1" data-bbox="534 567 905 667"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>スタッドジベル規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>φ19×250</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>φ22×250</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>各種</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 工場制品を標準とする。</p> <p>(3) シール材(材料費)の数量は、鋼板巻立て面積(m²)当りの質量(kg)とする。縁部、パイプ周りについて、下記の式より必要数量を算出する。 「シール断面積×シール延長×単位質量1,700(kg/m³)×(1+割増率)」 割増率は、下表に示す値とする。</p> <table border="1" data-bbox="534 808 1038 1039"> <thead> <tr> <th rowspan="2">支柱区分</th> <th colspan="2">割増率</th> </tr> <tr> <th>注入材が無収縮モルタルの場合</th> <th>注入材がエポキシ樹脂の場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A支柱</td><td>0.56</td><td>0.47</td></tr> <tr><td>B支柱</td><td>0.54</td><td>0.46</td></tr> <tr><td>C支柱</td><td>0.53</td><td>0.43</td></tr> <tr><td>D支柱</td><td>0.50</td><td>0.41</td></tr> <tr><td>E支柱</td><td>0.60</td><td>0.49</td></tr> <tr><td>F支柱</td><td>0.56</td><td>0.47</td></tr> <tr><td>G支柱</td><td>0.54</td><td>0.44</td></tr> <tr><td>H支柱</td><td>0.53</td><td>0.43</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 注入材(材料費)の数量は、鋼板巻立て面積(m²)当りの質量(kg)とする。</p> <p>1) 無収縮モルタルの場合 下記の式より必要数量を算出する。 「(鋼板取付面積1(m²)×注入厚0.03(m)－裏当て鋼板体積)×単位質量1,850(kg/m³)×(1+割増率)」 割増率は下表に示す値とする。</p> <table border="1" data-bbox="623 1207 934 1396"> <thead> <tr> <th>支柱区分</th> <th>割増率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A支柱</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>B支柱</td><td>0.55</td></tr> <tr><td>C支柱</td><td>0.54</td></tr> <tr><td>D支柱</td><td>0.52</td></tr> <tr><td>E支柱</td><td>0.61</td></tr> <tr><td>F支柱</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>G支柱</td><td>0.55</td></tr> <tr><td>H支柱</td><td>0.54</td></tr> </tbody> </table> <p>2) エポキシ樹脂の場合 下記の式より必要数量を算出する。 「(鋼板取付面積1(m²)×注入厚0.005(m)－裏当て鋼板体積)×単位質量1,200(kg/m³)×(1+割増率)」 割増率は下表に示す値とする。</p> <table border="1" data-bbox="623 1533 934 1722"> <thead> <tr> <th>支柱区分</th> <th>割増率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A支柱</td><td>0.42</td></tr> <tr><td>B支柱</td><td>0.41</td></tr> <tr><td>C支柱</td><td>0.38</td></tr> <tr><td>D支柱</td><td>0.36</td></tr> <tr><td>E支柱</td><td>0.44</td></tr> <tr><td>F支柱</td><td>0.42</td></tr> <tr><td>G支柱</td><td>0.39</td></tr> <tr><td>H支柱</td><td>0.38</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">3-3-45</p>	番号	スタッドジベル規格	①	φ19×250	②	φ22×250	③	各種	支柱区分	割増率		注入材が無収縮モルタルの場合	注入材がエポキシ樹脂の場合	A支柱	0.56	0.47	B支柱	0.54	0.46	C支柱	0.53	0.43	D支柱	0.50	0.41	E支柱	0.60	0.49	F支柱	0.56	0.47	G支柱	0.54	0.44	H支柱	0.53	0.43	支柱区分	割増率	A支柱	0.58	B支柱	0.55	C支柱	0.54	D支柱	0.52	E支柱	0.61	F支柱	0.58	G支柱	0.55	H支柱	0.54	支柱区分	割増率	A支柱	0.42	B支柱	0.41	C支柱	0.38	D支柱	0.36	E支柱	0.44	F支柱	0.42	G支柱	0.39	H支柱	0.38	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>4. 数量算出方法 数量算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか、下記の方法によるものとする。</p> <p>(1) 鋼板(材料費)は、規格ごとの質量(t)を算出する。なお、規格は以下を標準とするが、該当しない場合は、形状、ブラケットの有無、塗装の仕様等を明記する。</p> <table border="1" data-bbox="1721 609 2107 808"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>鋼板規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>円形補強鋼板(ブラケット有)</td></tr> <tr><td>②</td><td>円形補強鋼板(ブラケット無)</td></tr> <tr><td>③</td><td>矩形補強鋼板(ブラケット有)</td></tr> <tr><td>④</td><td>矩形補強鋼板(ブラケット無)</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>下端拘束用円形鋼板</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>下端拘束用形鋼</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>各種</td></tr> </tbody> </table> <p>注) 鋼板の塗装系はC-5系(上塗りまで含む)を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>	番号	鋼板規格	①	円形補強鋼板(ブラケット有)	②	円形補強鋼板(ブラケット無)	③	矩形補強鋼板(ブラケット有)	④	矩形補強鋼板(ブラケット無)	⑤	下端拘束用円形鋼板	⑥	下端拘束用形鋼	⑦	各種	<p style="text-align: center;">(控え頁)</p> <p style="text-align: center;">3/5</p>
番号	スタッドジベル規格																																																																																										
①	φ19×250																																																																																										
②	φ22×250																																																																																										
③	各種																																																																																										
支柱区分	割増率																																																																																										
	注入材が無収縮モルタルの場合	注入材がエポキシ樹脂の場合																																																																																									
A支柱	0.56	0.47																																																																																									
B支柱	0.54	0.46																																																																																									
C支柱	0.53	0.43																																																																																									
D支柱	0.50	0.41																																																																																									
E支柱	0.60	0.49																																																																																									
F支柱	0.56	0.47																																																																																									
G支柱	0.54	0.44																																																																																									
H支柱	0.53	0.43																																																																																									
支柱区分	割増率																																																																																										
A支柱	0.58																																																																																										
B支柱	0.55																																																																																										
C支柱	0.54																																																																																										
D支柱	0.52																																																																																										
E支柱	0.61																																																																																										
F支柱	0.58																																																																																										
G支柱	0.55																																																																																										
H支柱	0.54																																																																																										
支柱区分	割増率																																																																																										
A支柱	0.42																																																																																										
B支柱	0.41																																																																																										
C支柱	0.38																																																																																										
D支柱	0.36																																																																																										
E支柱	0.44																																																																																										
F支柱	0.42																																																																																										
G支柱	0.39																																																																																										
H支柱	0.38																																																																																										
番号	鋼板規格																																																																																										
①	円形補強鋼板(ブラケット有)																																																																																										
②	円形補強鋼板(ブラケット無)																																																																																										
③	矩形補強鋼板(ブラケット有)																																																																																										
④	矩形補強鋼板(ブラケット無)																																																																																										
⑤	下端拘束用円形鋼板																																																																																										
⑥	下端拘束用形鋼																																																																																										
⑦	各種																																																																																										

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤	正	備考																																																															
<p>前頁より移動</p> <p>(5) アンカー材 (材料費) は、規格 (径、長さ等) ごとの本数を算出する。</p> <p>(6) アンカー注入材 (材料費) の使用量は、下表を標準とする。 (削孔深 1m・100箇所当り)</p> <table border="1" data-bbox="528 709 1026 905"> <thead> <tr> <th>アンカー筋径</th> <th>削孔径 (mm)</th> <th>注入材使用量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>D16</td><td>26</td><td>46</td></tr> <tr><td>D19</td><td>29</td><td>52</td></tr> <tr><td>D22</td><td>32</td><td>59</td></tr> <tr><td>D25</td><td>35</td><td>65</td></tr> <tr><td>D29</td><td>39</td><td>74</td></tr> <tr><td>D32</td><td>42</td><td>80</td></tr> <tr><td>D35</td><td>45</td><td>87</td></tr> <tr><td>D38</td><td>48</td><td>93</td></tr> </tbody> </table> <p>ただし、これにより難い場合は、次式によるものとする。 使用量(kg) = $[(D^2 - d^2) \times \pi \times 1 / 4 \times L \times 100 \text{箇所}] \times M \times (1 + K) / 100 \text{箇所}$ D: 削孔径 (m) d: アンカー材径 (m) L: 削孔深 (m) M: 単価質量は 1,200 kg/m³ とする。 K: ロス率は +0.14 とする。</p> <div data-bbox="335 1119 1252 1696" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>5. 支柱概念図</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(1) 矩形 (小判形を含む) 支柱</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(2) 円形支柱</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> </div>	アンカー筋径	削孔径 (mm)	注入材使用量 (kg)	D16	26	46	D19	29	52	D22	32	59	D25	35	65	D29	39	74	D32	42	80	D35	45	87	D38	48	93	<p>現行どおり</p> <p>(4) 注入材 (材料費) の数量は、鋼板巻立て面積 (m²) 当りの質量(kg)とする。</p> <p>1) 無収縮モルタルの場合 下記の式より必要数量を算出する。 「(鋼板取付面積 1(m²) × 注入厚 0.03(m) - 裏当て鋼板体積) × 単位質量 1,850(kg/m³) × (1 + 割増率)」 割増率は下表に示す値とする。</p> <table border="1" data-bbox="1875 661 2181 856"> <thead> <tr> <th>支柱区分</th> <th>割増率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A支柱</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>B支柱</td><td>0.55</td></tr> <tr><td>C支柱</td><td>0.54</td></tr> <tr><td>D支柱</td><td>0.52</td></tr> <tr><td>E支柱</td><td>0.61</td></tr> <tr><td>F支柱</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>G支柱</td><td>0.55</td></tr> <tr><td>H支柱</td><td>0.54</td></tr> </tbody> </table> <p>2) エポキシ樹脂の場合 下記の式より必要数量を算出する。 「(鋼板取付面積 1(m²) × 注入厚 0.005(m) - 裏当て鋼板体積) × 単位質量 1,200(kg/m³) × (1 + 割増率)」 割増率は下表に示す値とする。</p> <table border="1" data-bbox="1875 991 2181 1186"> <thead> <tr> <th>支柱区分</th> <th>割増率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A支柱</td><td>0.42</td></tr> <tr><td>B支柱</td><td>0.41</td></tr> <tr><td>C支柱</td><td>0.38</td></tr> <tr><td>D支柱</td><td>0.36</td></tr> <tr><td>E支柱</td><td>0.44</td></tr> <tr><td>F支柱</td><td>0.42</td></tr> <tr><td>G支柱</td><td>0.39</td></tr> <tr><td>H支柱</td><td>0.38</td></tr> </tbody> </table> <p>次頁へ移動</p>	支柱区分	割増率	A支柱	0.58	B支柱	0.55	C支柱	0.54	D支柱	0.52	E支柱	0.61	F支柱	0.58	G支柱	0.55	H支柱	0.54	支柱区分	割増率	A支柱	0.42	B支柱	0.41	C支柱	0.38	D支柱	0.36	E支柱	0.44	F支柱	0.42	G支柱	0.39	H支柱	0.38	<p>備考</p>
アンカー筋径	削孔径 (mm)	注入材使用量 (kg)																																																															
D16	26	46																																																															
D19	29	52																																																															
D22	32	59																																																															
D25	35	65																																																															
D29	39	74																																																															
D32	42	80																																																															
D35	45	87																																																															
D38	48	93																																																															
支柱区分	割増率																																																																
A支柱	0.58																																																																
B支柱	0.55																																																																
C支柱	0.54																																																																
D支柱	0.52																																																																
E支柱	0.61																																																																
F支柱	0.58																																																																
G支柱	0.55																																																																
H支柱	0.54																																																																
支柱区分	割増率																																																																
A支柱	0.42																																																																
B支柱	0.41																																																																
C支柱	0.38																																																																
D支柱	0.36																																																																
E支柱	0.44																																																																
F支柱	0.42																																																																
G支柱	0.39																																																																
H支柱	0.38																																																																
		<p>(控え頁)</p> <p>4/5</p>																																																															

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤	正	備考
<p style="text-align: center;">前頁より移動 →</p>	<div data-bbox="1537 546 2457 1123" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>5. 支柱概念図</p> <p>(1) 矩形 (小判形を含む) 支柱 (2) 円形支柱</p> </div> <p style="text-align: center;">3-3-47</p>	
		<p style="text-align: right;">(控え頁)</p> <p style="text-align: right;">5/5</p>